

令和5年度 都農町立都農東小学校・内野々分校 自己評価書

学校経営ビジョン	○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○健やかな身体の育成 ○地域とともにある学校
----------	--

【評価基準 4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

重点指導項目	方法・手立て	評価内容	自己評価		○数字:学校の自己評価コメント・改善点 □:学校運営協議会委員の評価	
			児童 職員 保護者	総合		
確かな学力の向上をめざして	①「わかる・できる」授業の実践	・職員研修の充実 ・学力タイム等の取組	児:授業は、わかりやすいですか。 職:全教科において、「わかる・できる」授業が実践できているか。 保:子どもは、授業が分かりやすいといっているか。	3.5 3.0 2.7	2.8	①「わかる・できる」授業の実践～保護者の評価(2.7)が低い。子どもが分かりやすいと思うような授業にするために、職員間で授業改善を図る取組を行う時間を確保する。 ②家庭学習の充実～保護者の評価(2.5)が低い。今年度から始めた学年の実態に応じた「けてぶれ」を次年度も継続して、子どもと保護者への理解を深めていく。 ③読書活動の推進～全体的に評価が低い。読書への関心を深めるために、読み聞かせなどの様々な取組を行うとよいのではないかと。 □児童と保護者の評価が離れすぎており、保護者の理解が必要である。 □学校と家庭が連携を取り、改善する必要がある。 □①について保護者の評価が低い、学校での様子を見る機会が少ないのではないかと。 □授業の改善が必要
	②家庭学習の充実	・家庭学習カードによる取組 ・家庭学習の日常的な支援	児:おうちでは、すすんで勉強をしていますか。 職:家庭学習の充実を図ることができているか。 保:子どもは、進んで家庭学習に取り組んでいるか。	3.2 2.9 2.5		
	③読書活動の推進	・読書タイムの設置 ・読書月間の取組	児:本をよく読んでいますか。 職:読書への関心を高め、様々な分野の本に親しませているか。 保:子どもは、読書をよくしているか。	2.8 2.7 2.0		
め児童が楽しいと感じる学校を	④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応	・組織体制の構築 ・初期対応の実施	児:学校は、楽しいですか。 職:特別支援教育の充実を図り、全ての子どもを伸ばすことができたか。 保:子どもは、学校が楽しいといっているか。	3.6 2.3 2.8	3.0	④生徒指導・特別支援教育の組織的な対応～教師の評価(2.3)が低い。学級担任だけでなく、複数の職員で児童に関わる体制を整える。 ⑤いじめ・不登校0の取組～児童の評価(3.6)は高い・職員の評価(2.8)は低い。心のアンケートの後など、その都度児童に確認を行い必要に応じてケース会議を開く。観察を通して児童への適切なサポートと、保護者の協力を仰ぐ。 ⑥あいさつの励行～児童の評価(3.4)が高い・職員の評価(2.8)が低い。学校内では、児童会の取組を中心に一定の成果が出ているのではないだろうか。場に応じたあいさつの指導が必要となる。 □近所ではあいさつがよくできている。 □「ありがとう。」「ごめんなさい。」が言えない子が多いように感じる。 □学校が楽しいと感じることが一番だと思うので、学校家庭が連携し、いじめなどがあつたら心のケア、サポートが大切になってくる。
	⑤いじめ・不登校0の取組	・日常観察・教育相談の充実 ・あすなる会での共通理解	児:たくさんのお友だちとなかよくできていますか。 職:いじめの早期発見と早期解決に努めているか。 保:子どもの友人関係は、良好であるか。	3.6 2.8 2.9		
	⑥あいさつの励行	・日常的な指導の徹底 ・地区別交通集会の取組	児:進んで大きな声であいさつができていますか。 職:児童は進んで挨拶をしているか。 保:子どもは、気持ちよいあいさつをしているか。	3.4 2.8 2.9		
たくましい身体の育成をめざして	⑦感染症・病気の予防、安全面	・うがい・手洗いの徹底、日常の安全指導 ・歯の治療の啓発	児:病気の予防や安全に気を付けて生活していますか。 職:感染症や病気の予防について、指導の充実が図られているか。 保:子どもは、感染症や病気の予防や安全面に努めているか。	3.5 3.0 2.8	2.9	⑦感染症・病気の予防、安全～児童の評価(3.5)が高い。手立てはしっかり講じている。廊下歩行など日常生活の中で、児童の安全意識を更に高めるようにする。 ⑧生活習慣の確立～教師(2.4)・保護者(2.7)の評価が低い。基本的には、家庭の問題であるが、ゲームやYouTube視聴などについて、学校でできる取組を工夫改善する必要がある。この件に関しては他の部とも連携していく。 ⑨体力の向上～児童の評価(3.4)はわりと高いが、それと比較すると保護者の評価(2.8)はわりと低い。保護者は家庭での子どもの様子のみで評価しているのではないかと考えられる。二極化が予想され、学校生活や体育の授業での取組の工夫をしたい。 □保護者も早く寝る必要がある。 □元気な子どもたちが多く、学校や家庭の取組がよいのではと思う。 □運動会が素晴らしいです。 □ゲームや動画視聴が今後の課題、そして課題を学校と家庭で共有できるとよい。
	⑧生活習慣の確立	・さわやかタイムの実施 ・家庭への啓発	児:早寝、早おきができていますか。 職:児童は「早寝・早起き」など健康的な生活習慣を身に付けているか。 保:子どもは、早寝・早起きの習慣が身に付いているか。	3.1 2.4 2.7		
	⑨体力の向上	・体育の時間の指導法の工夫 ・朝の体育活動の取組	児:よく運動をしていますか。 職:体力向上プランをもとに、柔軟性や走力の向上が図られているか。 保:子どもは、進んで運動をしているか。	3.4 2.9 2.8		
し地域とともにある学校をめざ	⑩体験活動の充実	・生活科・総合的な学習等の取組	職:地域の人材を可能な範囲で活用し、体験活動の充実を図っているか。 保:学校は、体験活動に積極的に取り組んでいるか。	3.3 2.6	2.9	⑩体験活動の充実～教師の評価(3.3)はわりと高いが、それと比較すると保護者の評価(2.6)は低い。学校としての取組が、保護者に十分理解されていないのではないかと。 ⑪家庭・地域との連携～教師の評価(3.2)は昨年度(2.7)と比べて高まったが、保護者の評価(2.7)が低い。学校としては、地域や家庭と連携していると考えているが、保護者への説明が十分でなかったのではないだろうか。 ⑫積極的な情報の発信～教師の評価(3.3)はわりと高いが、それと比較すると保護者の評価(2.8)はわりと低い。「情報」の発信について、学校と保護者でイメージにずれがあるのではないかと。ホームページを見ていただくよう啓発したい。 □ホームページをたくさんの人に見ていただけるようにしたい。 □夏祭りの奴踊りは感動した。引き継がれることを願う。
	⑪家庭・地域との連携	・キャリア教育の推進	職:キャリア教育を推進して、地域との連携を図っているか。 保:学校は、地域との連携が図られているか。	3.2 2.7		
	⑫積極的な情報の発信	・文書の配付やホームページによる情報発信	職:家庭や地域に積極的に情報を発信しているか。 保:学校は、教育活動の様子を家庭や地域に積極的に発信しているか。	3.3 2.8		
	⑬自己肯定感(児童のみ)		・自分にはよいところがあると思うか。 ・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思うか。	3.2 3.4	3.3	⑬自己肯定感(児童のみ)～わりと高い。職員研修で出された意見では児童の自己肯定感が低いという意見が多かったが、児童の捉え方と教師の捉え方に違いがあるように感じる。